

お母さんのひろば

渋川市小中学校PTA連絡協議会母親委員会は、市内23小中学校PTAの女性代表で構成されています。母親委員会では、興味・関心のあるテーマを協議して、年度ごとの事業を実施しています。今年度は、「安全」をテーマとして研修会を開催しました。今年度の活動をこの「お母さんのひろば」でお知らせします。

平成29年度の活動

【研修会】

日時：平成29年12月13日（水）

内容：施設見学 群馬県警察本部

給食試食 南部学校給食共同調理場

【広報紙】

「お母さんのひろば」発行



◆◆◆研修会報告◆◆◆

群馬県警察本部では、通信指令室と交通管制センターの見学と「交通安全」についての話を聞いてきました。

通信指令室は110番通報を受けてパトカーや警官が現場にすぐに駆けつけるように指示を出す仕事、交通管制センターは渋滞をなくすように信号の時間を変える仕事をしていました。私たちが日々、安全安心に過ごせるように、こうした影の仕事にも警察の方は頑張ってくれていることを知りました。

交通安全の話では、自転車は気軽な乗り物だけど、「軽車両」であることを意識して、交通ルールを守ることが大事だと改めて確認できました。



白バイにまたがる
八高会長



「交通安全」の
講習の様子



調理作業風景



栄養士さんからお話を聞きました

南部学校給食共同調理場では、給食の調理作業の見学と実際に子どもたちが普段食べている給食を試食してきました。

調理作業中、職員の皆さんは帽子を被り、マスクや手袋を着用し完全防備という出で立ちで作業をしていて、細菌が拡大しないように部屋の行き来はしない、使う食材は3回洗うなど、徹底した衛生管理が行われていました。

毎日、子どもたちが安心して食べられる給食を作っていただけることに、とてもありがたく思いました。

◆◆◆県家庭教育委員 活動報告◆◆◆

県家庭教育委員とは

渋川南小学校PTA女性代表 大津豊美

県家庭教育委員会とは、群馬県PTA連合会の専門委員会の1つであり、郡市の母親委員の代表により構成されます。子ども達が健やかに成長していくためには、家庭の教育力を充実させることが大切であるという概念に基づき、専門家を招いて研修を行います。また同時に、各郡市の母親委員会の活性化に努め、県P連に母親の意見を反映させることを任務としております。

渋川市P連からも毎年代表者1名が選出され活動に参加しています。今回は県家庭教育委員の具体的な活動を少し紹介します。

平成29年度の活動

今年度は、「コミュニケーション」「食育」「体力作り」等の研修を受けました。どれもワークショップ形式で、実際に体験しながら学ぶことができ、大変有意義な時間でした。

また、第49回日本PTA関東ブロック研究大会群馬大会において、高崎シティギャラリーを会場に、第4分科会「家庭教育」を担当しました。

TERUコミュニケーションステージ主宰の渡辺照子氏が「お・も・し・ろ子育てコーチング」の題目で、二人一組でロールプレイを行う参加型の講演をされ、相手が嬉しいと感じる言葉かけの練習や、実際言われた時の気持ちを体験しました。親は子どもに対して、否定や批判等マイナスの言葉を言いがちですが、子どもの現状を認めて、未来につながるようなプラスの言葉をかけることでやる気が出て、感情のコントロールにも役立つと教えていただきました。

活動に参加してみても

今年度は関プロ担当役員として会議やシュミレーションを重ねてきました。毎回、前向きで活発な意見交換がなされ、学ぶことが多かったです。当日も、全員が協力して無事に会場運営が行え、参加者の皆様が笑顔で帰られたこと等、大変貴重な体験をさせていただき感謝しています。

県家庭教育委員になって、県内各地の学校やPTAの取り組みの話を聞いたのも参考になりました。子ども達を取り巻く環境が大きく変化している昨今、子育てにおける家庭教育の重要性を再確認した1年でした。

